

愛知県知事選挙立候補者 尾形けいこ様（無所属）

【質問1】国連によるインクルーシブ教育に関する日本への勧告を受けて、どのような政策を実施されますか？その内容を下記の空欄にお書きください。

国連によるインクルーシブ教育に関する日本への勧告は、自治体としても重要な指摘として受け止めるべきだと思います。インクルーシブ教育導入のために、児童・生徒への人権教育、教員への研修を強化します。県としてのモデル事業を行い、インクルーシブ教育導入校を増やします。合わせて、特別支援学校の教室不足を解消します。インクルーシブ教育を実現していくためにも、教員を大幅に増やし、小中高の少人数学級化（当面30人学級）をめざします。

【質問2】あなたが“誰も排除しない”“差別を行わない”教育を実施される場合、重視される政策は何ですか？（複数回答可）

- 基礎的環境整備（エレベーター設置等のユニバーサルデザイン、情報保障など）
- 一人ひとりのニーズに応じた変更・調整（合理的配慮）
- 教職員に対する障害の社会／人権モデルに関する研修
- その他

全ての児童・生徒に対する人権教育（障害者、性的少数者、外国人、高齢者、女性等に対する偏見や差別をなくす）

【質問3】愛知県における学校のUD推進に関する問題（エレベーター未設置校が多い等）をどのように受け止めましたか？その内容を下記の空欄にお書きください。

他の都道府県でできることは愛知県でもできると思います。できないのは、知事の政策判断の誤りだと思います。

【質問4】県立高校のユニバーサルデザイン化（特にエレベーター設置）計画の策定に取り組みますか？

- はい
- いいえ

●その理由を下記の空欄にお書きください。

県立高校でユニバーサルデザイン化、エレベーター設置が進んでいないことは、障害のある子どもの学校の選択肢を狭めるとともに、障害のある教職員の雇用推進という点でも問題があると思います。県は2029年度までの県立学校施設長寿命化計画にもとづく事業を実施中ですが、この事業の中に学校のユニバーサルデザイン化を位置付けて実施すべきです。当然、新設・建替え校はユニバーサルデザイン化、エレベーター設置を行うべきです。

【質問5】「あなたの目指す教育」について下記の空欄にお書きください。

子どもの権利条約を生かした教育、子どもが主人公になれる学校をめざしたいと思います。そのためには、少人数学級の実現が欠かせません。教員を増やして、分かる授業を行い、子供とふれ合う時間が確保できる教育をめざしたいと思います。

アンケートは以上になります。